



かわごえ



# 民児協だより

[第92号]

令和7年1月発行  
(2025年)

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



春をむかえる  
蠟梅

撮影者 三浦 やえ子



川越市長 川合 善明

明けましておめでとーございます。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より地域福祉の向上にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。また、市民が地域で安心して暮らせるように献身的な活動をしていただいていることに対しまして、深く御礼申し上げます。

近年、社会の変化に伴い、孤独や孤立を感じる方が増えております。特に高齢者や子育て世代の中には、地域とのつながりが希薄になりがちな方も多く、皆様の役割はますます重要性を増しています。皆様の活動が、地域の絆を強め、住民一人ひとりの生活を支える大きな力となっていることを改めて感じております。

本年も、第四次川越地域福祉計画の基本理念であります「笑顔で迎え 出会いがつながり 絆が深まるまち 川越」を目指し、皆様と共に地域の課題に取り組んでまいります。特に、地域のつながりを強化し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域の実現に向けて、皆様とさらなる連携を深めていきたいと考えております。

今後とも地域福祉の要として、皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、川越市民生委員児童委員協議会連合会の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

令和七年一月吉日

# 新年の挨拶

社会福祉法人

川越市社会福祉協議会



理事長 関根水絵

新年あけましておめでとうございます。民生委員・児童委員及び主任児童委員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、近年、地域社会において相互扶助の重要性はますます高まっております。しかしながら、少子高齢化やライフスタイルの変化を背景に、民生委員をはじめとした地域の担い手不足が深刻な問題になっていくと伺っております。

地域住民の暮らしを支えるには、皆様方の経験と熱意が不可欠です。事務局を預かる川越市社会福祉協議会といたしましては、皆様の負担軽減を図りながら、地域福祉に関心のある方々がより気軽に活動に参加できるよう、環境を整えてまいります。

と考えておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 地域の活動紹介

### 大東地区

貫井由美子

大東地区では、地区社協、包括支援センターだいたいとう、各自治会の協力を受け、健康、体力向上を目指し、四十四名の民生委員・主任児童委員で活動しています。

今回は地域高齢者の要望で始めた二つの会を紹介したいと思います。「誰とも話さない日があるよ」との会話がきっかけで始まった華の会、個人宅の庭先で月一回でスタート、雑談やハーモニカ伴奏での合唱、いもっこ体操災害時に役立つ薪での食事作り等を楽しんでいます。お釜で炊いたご飯はおこげになって大笑いでした。ラジオ体操同好会も高齢者の方から要望があ

り、自治会・包括支援センターだいたいとうのご協力を得てスタート出来ました。

近隣会社の広場をお借りして九月より週二回のペースで始めました。一ヶ月が過ぎ十名前後で朝の体操を楽しんでいます。

参加者の方々から、腕が上がるようになった、足の痛みが柔らぎ走れるようになった、体が軽くなり気分爽快など、体に良い変化が表れているようです。ラジオ体操を通じ地域の交流場になる事を期待し、多くの方に参加して頂けるよう、自治会の回覧板で情報提供を頂くと共に、私達民生委員も声がけを続けて行きたいと思っております。



### 第十地区

市川 操子

第十地区は、本庁管内の南西部に位置し、坂の上と坂の下に分かれ新河岸川を守る会にも属しています。自治会は八町内、六軒町一・二丁目、中原町一・二丁目、パークファミリア、連雀町、三光町、月吉町、野田月吉町、月吉住宅で構成されています。

最寄駅は川越市、本川越、校区は中央小、月越小、富士見中、初雁中です。商店街は歴史ある大正ロマン通り・中央通りがあり、蓮馨寺・熊野神社・妙昌寺（弁財天）は連日観光客で賑わっています。

民生委員十五名に主任児童委員二名を加え、十七名で活動しています。定例会は各自治会の公民館を順番で利用し、雰囲気の違いを感じながら行なっています。伝達事項、各委員会、研修会の報告の後、委員個々の事例の報告や問題など全員で共有し、話し合う活気ある

場となつています。通年行なっている事業としては、福祉協力員（四十九名）の協力体制もあり、配食と見守りを月二回三十年余継続しています。世代交代で新しい住宅やマンションの建築も増え、人口の増加（二百五十八世帯）があり、自治会もお祭りや行事等、以前に戻りつつも新体制になっていきます。これからも地区社協・自治会と連携し活気ある地区になるよう希望致します。



## 令和5年度の「活動記録」報告書より

令和5年度の民生委員・児童委員の「活動記録」集計を報告します。

令和5年度の活動件数は、令和5年5月に新型コロナ5類移行により行動制限が解除されたことから、コロナ禍以前の平時の状況に戻りつつあると言えます。

令和4年度以前と比較すると、相談・支援件数には大きな差異はありませんが、その他の活動件数では「調査・実態把握」、「行事・事業・会議への参加・協力」及び「地域福祉活動・自主活動」の各項目の活動件数が増加しています。これは明らかに、各種の事業・活動団体（公的機関、各地域の自治会・社会福祉協議会・民児協など）の活動が通常の状態に戻りつつあり、その結果民生委員・児童委員が参加し協力する件数が増加したものと思われる。また、「地域福祉活動・自主活動」の増加は、訪問回数の増加にも表れており、民生委員・児童委員独自の活動が活発化したことを示しているものと思われる。

今後とも新型コロナ、夏の猛暑、冬のインフルエンザなどに注意しつつ、民生委員・児童委員本来の、自助・互助・共助と公助の架け橋となる活動が期待されます。尚、令和3年度の活動件数の増加は3年毎の居住者カード更新によるものです。

### ◇川越市「活動記録」 令和2年度～令和5年度 推移表

活動分類		合計件数				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
相談・支援件数	（内容別）	在宅福祉	690	595	653	606
		介護保険	273	357	392	428
		健康・保険医療	837	1,128	786	745
		子育て・母子保健	160	62	54	74
		子どもの地域生活	184	160	228	593
		子どもの教育・学校生活	205	151	131	174
		生活費	221	171	193	136
		年金・保険	38	29	42	34
		仕事	28	53	41	23
		家族関係	330	300	290	215
		住居	143	115	174	167
		生活環境	329	356	321	343
		日常的な支援	1,981	2,441	2,387	2,140
		その他	2,501	2,456	2,729	2,549
	計	7,920	8,374	8,421	8,227	
	（分野別）	高齢者に関すること	5,485	5,845	5,526	4,939
		障害者に関すること	427	491	535	611
		子供に関すること	817	696	797	1,126
		その他	1,191	1,342	1,563	1,551
	計	7,920	8,374	8,421	8,227	
その他の活動件数	調査・実態把握	4,983	112,300	7,224	12,919	
	行事・事業・会議への参加・協力	6,116	7,384	9,061	12,350	
	地域福祉活動・自主活動	18,962	21,546	22,229	24,923	
	民児協運営・研修	14,291	16,588	18,205	16,679	
	証明事務	552	345	325	472	
	要保護児童の発見の通告・仲介	71	23	26	14	
	計	44,975	158,186	57,070	67,357	
訪問回数	訪問・連絡活動	61,971	65,549	64,483	69,321	
	その他	51,327	160,513	53,109	52,537	
	計	113,298	226,062	117,592	121,858	
連絡調整回数	委員相互	36,811	41,063	45,767	43,757	
	その他の関係機関	18,782	22,410	21,414	20,850	
	計	55,593	63,473	67,181	64,607	
活動日数		66,315	73,157	72,111	74,208	
一人あたりの活動日数		136.2	149.0	146.6	151.1	
各年度初の民生委員・児童委員、主任児童委員数		487名	491名	492名	491名	

# 生きがい訪問

霞ヶ関地区

大野 明子さん



私はこの的場の地に生まれ育ち、今余生を過ごしています。私が六年生の時母親を亡くし、それ以来中学校に入ってから毎日の夕食の支度は、祖母の采配で私の仕事でした。実家で土地を提供して頂き家を建てました。今は長男の家族と私達夫婦の大家族です。

私の父の言葉は、ボランティアは買ってでもしなさい。その言葉から民生委員十五年間、それと同時にぎんれいボランティア、一人暮らしの高齢者を公民館に招き、手作りの食事を召し上がって頂いた後に、歌や舞、盲学校の生徒さんのマッサージと多種の内容で喜んで頂きます。また、一人暮らしのお宅にお昼

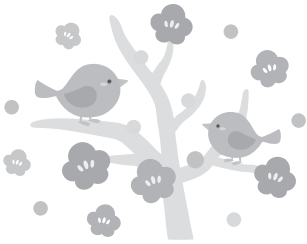
をお届けする配食サービス、子供サポート委員として小・中学生の野外活動の手伝い、これらを二十年続けています。自治会では福祉部の活動を行なっています。地域内の七十三才以上の一人、二人暮らしの方の家庭訪問では、僅かばかりの手みやげを持ち、ボランティア八名で手分けして八十世帯を健康状態など伺いながら、年三回行なっています。

私個人としては公園清掃を五十年程続けています。私の母が倒れた時、畑仕事で出ている父に知らせに走ったのが正にこの公園近くの畑だったのです。何かそんな想いで大切にしたい場所の一つです。この地に居住しているからには地域の為に、また自分の為にも出来る事をやる。広い公園ですので、落葉、除草などで年間四十五リットルのごみ袋を五百個程出します。地域の子供達の安全を願い、通学路の清掃など気が付

けば箒と鎌を持ち動いている自分がいます。自分の趣味としては花いじりが大好きです。花に触れていると、時を忘れられます。またゴルフ、スコール、グラウンドゴルフ、いもっ子体操、苦戦しているペン習字と合間を埋める時間があります。健康である限り、これらをこなしていけたら最高だと思いうし、幸せであると信じたいです。



2023/06/22 13:14



名細地区

田口 良枝さん



私は深谷出身ですが、幼少の頃から「川越って何処？」と思っっていました。

というのも近所に川越祭に毎年行っている家があったのでどんな所なのだろうと想像していました。

縁があつて川越に嫁いでから川越の町巡りをした時、中院で

・健康は一番の幸せ  
・満足は最大の財産と書いてあつた立札をみて感動したことを覚えています。

そして私はそれを目標に生きてきました。  
看護の仕事をして七十六才迄して今は毎日が日曜日です。

趣味の大正琴を習い二十一年が経ちます。月に五回三教室に通っています。おさらい会、県大会、全国大会と参加して楽しんでいきます。食育運動の一環として

「まごはやさしい」の食材にこだわり食事作り

をしています。地域の中ではさわやかサロンに通い脳トレをしたりいもっこ体操をしたり皆と楽しくすごしています。

カーブスにも行き体力をつけ、夏は早朝より駅前の花壇の草取りをし気持ちいいフレッシュしています。きれいになると自分の気持ちもすっきりして心地よいです。先日は通りかかった小学生から「きれいになつてくろうさま」と声をかけられました。

また通りすがりの若い方からペットボトルのお茶をいただいたりとても嬉しかったです。  
一週間が早く過ぎ、なんて幸せなんだろうと満足に日々をすごしています。



# 地区民児協だより

## 第七地区 小池 敬子

第七地区民事協は、川越駅東口より東へ二キロに位置しており仙波町一、二、三、四丁目、菅原町、富士見町、大仙波の七町内で構成されています。

それぞれの町内で、いもっこ体操、オレンジカフェ、サロン等、地域の皆さんとの交流に力を入れていきます。又、お年寄りだけでなく世代間交流として、氷川神社境内の掃除をしております。

毎年百名近くで、実施しておりますが、今年は雨天中止となり、後日役員のみで、実施いたしました。又、大仙波地区では、ランドゴルフメンバーが、練習の後に花見を楽しみました。今年は、桜がまたたく間に満開を迎え、コロナ感染も落ち着き、楽しいひとときとなりました。

菅原町では、世代間交流として、小学生から常盤会の人まで、一緒

にランドゴルフする会を三月に実施しております。又、出前講座では、大変ためになるお話が聞けて、よろこんでいます。これからも、地域の皆様と密着して活気のあつた第七地区にしたいとおもいます。



## 第九地区 黒田 実

地域の変わりようが急激で大きい、市の中心部川越駅に隣接し、十六号国道の一角に沿った地区です。

六自治会、民生委員は十五名、二名の児童委員で地域の皆様の日々安全で充実した生活が送れるよう、お手伝いができればと。

今回は、当地区民生委員・児童委員の諸活動の中から、その一端を報告（紹介）します。一つは娯楽的なもの、他は現地研修です。

先ず「おしゃべりサロン」です。今回は、社協及びボランティアの方々に応援や協力をいただき、「風船づくり」に挑戦しました。



高齢者の方々にとどのようか、と計画を立てることは結構、労力を使います。と同時に一人でも多くの方々に参加していただくか。また参加はしたが不自由な身体で、また、いつも決まった人の参加など、多くの課題を抱えているのは、どこもそうでしょう。また、民生委員・児童委員にとつて、研修を深め見聞を広めることは何より重要で、委員同士が情報等を伝え合うことは勿論、体験することが難しい、例えば、二年前「神田川、環状七号線地下調節池」へ出かけました。近年の異常気象等による浸水被害における働きには驚くばかりです。



七月八日  
全員研修会に  
参加して  
広報部会 花岡 実

講演 「人生会議について」  
講師 医療法人真正会

副理事長 齊藤 克子様

もしものときのためにこれからの治療ケアに関して話し合う人生会議

・大切にしていることは何かと考える

・いざという時に代理として受ける治療やケアについて話し合つてほしい人を決めておく

・病名や病状、予想される今後の経過を主治医（かかりつけ医）に質問する

・医療代理人と繰り返し話し合い書き残す  
・医療代理人以外の家族や知人、医療従事者にも希望や考えを伝えておく

人生最期の家族への贈り物になる

「これで良かった」と自分も周囲の人も思えるようにと、以上の内容で大変参考になる講演会でした。

